

# 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 堀場厚

### 2 所在地

京都市左京区下鴨半木町1番地の26

### 3 電話番号

075-711-2244

### 4 ホームページアドレス

<https://www.kyoto-ongeibun.jp/>

### 5 設立年月日

平成5年3月31日

### 6 基本財産

103,000千円（うち本市出えん額 55,000千円、出えん率 53.4%）

### 7 事業目的

京都市世界文化自由都市宣言の理念に基づき、音楽、演劇、舞踊その他の芸術及び芸能を振興し、国内外へ発信することにより、京都が優れた文化を創造し世界文化交流の中心であり続けることに寄与するとともに、市民が生きがいのある文化的な生活を送ることができる社会づくりに貢献すること。

### 8 業務内容

- (1) 芸術及び芸能の振興並びに伝統芸能の継承及び発展に資する事業
- (2) 京都の文化芸術の国内外への発信と交流の促進に資する事業
- (3) 京都市交響楽団による芸術の振興及び発信に資する事業
- (4) 文化芸術を通して地域社会の活性化や健全な発展に寄与する事業
- (5) 文化芸術の振興拠点として、創造的な活動が不断に行われるための施設の管理運営
- (6) その他法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課(TEL075-222-3119)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

堀場厚

#### (2) 専務理事

森川佳昭

#### (3) 常務理事

川本悟

#### (4) 理事

片山九郎右衛門、桑山彩子、榊田隆之、砂原悟、染川里美、竹内善行、西本清一、松田規久子、平賀徹也（文化市民局文化芸術都市推進室長）

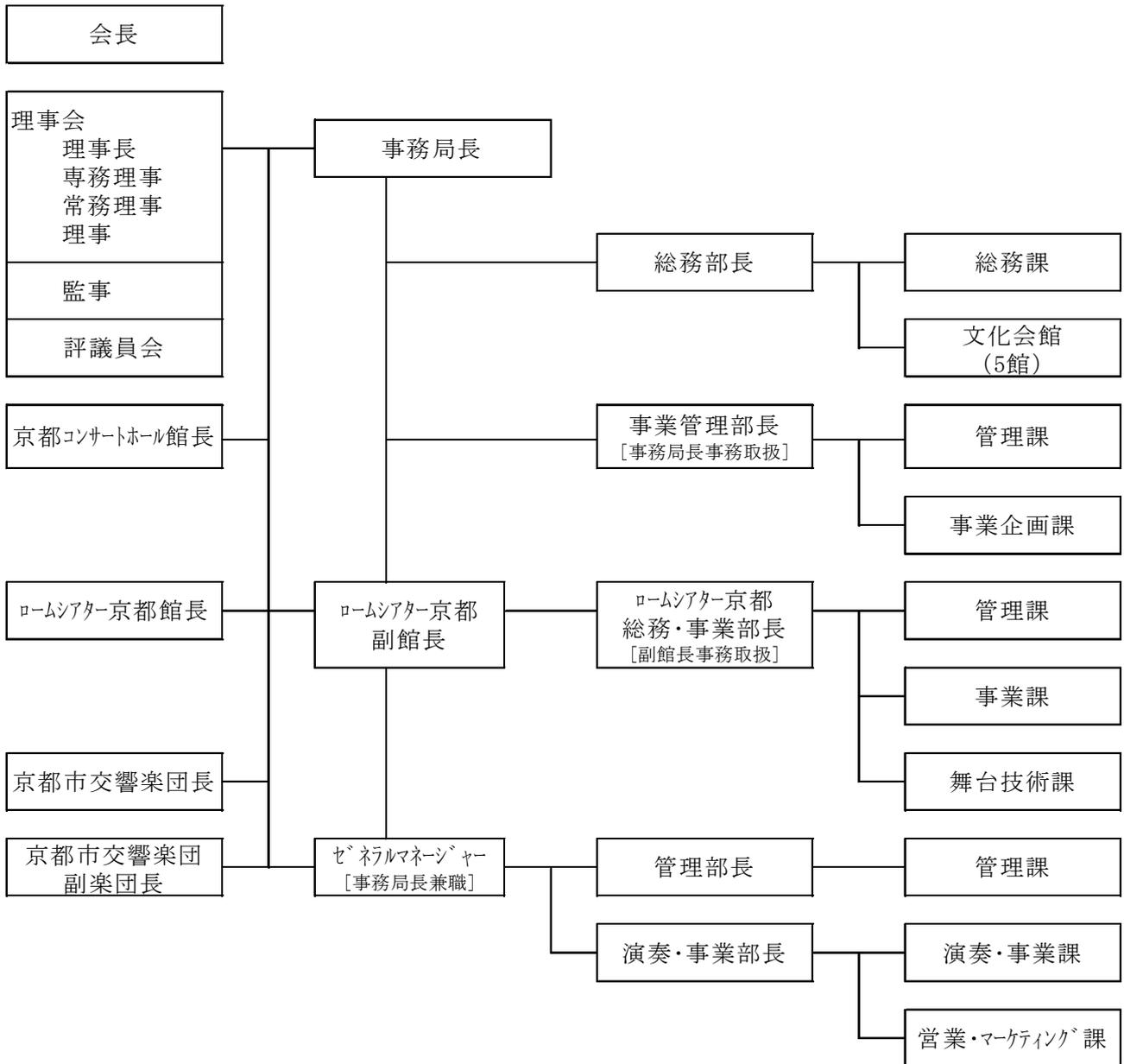
#### (5) 監事

津嶋俊郎（文化市民局くらし安全推進部長）、中路健一

### 11 職員数

常勤職員数 192名（うち本市派遣職員 6人）

12 組織機構



第2 目標及び実績

1 業務面

(1) 目標及び実績

目標 「各施設の利用促進」	
令和5年度の目標	<p>新型コロナウイルス感染症による施設利用料金収入の減収および利用率の低下については回復の傾向はあるものの、影響を受けていない平成30年度の水準までは回復していない。施設ごとに実施している割引制度の周知に努め、更なる利用促進を行い、引き続き平成30年度の利用率を目標に利用料金収入の回復に努める。</p> <p>また、財団においても自主事業として、新たに施設商用撮影貸出（ロケーションボックス）等を行い、施設の稼働率向上や増収に努める。</p>
令和5年度 の取組結果 (※)	

令和6年度の目標	<p>施設ごとに実施している割引制度の周知に努め、更なる利用促進を行い、引き続き平成30年度の利用率を目標に利用料金収入の回復に努める。</p> <p>またコロナ禍を経て、長期間利用の無い団体や、他施設を利用している団体についてはDMの送付及び各種助成金制度の広報・宣伝するなど、利用率の向上に向けて取り組む。</p> <p>また、財団においても自主事業として施設商用撮影貸出（ロケーションボックス）等を行い、施設の稼働率向上や増収に努める。</p>
----------	---

指標	施設商用撮影貸出（ロケーションボックス）の利用促進						（単位：件）	
	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
目標と実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)
						3		3

(2) 事業実績（令和4年度）

① 公益目的事業

ア 京都コンサートホール

(ア) 主催・共催事業（35事業 42公演 4講座（うち中止1事業 1公演）

- a 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進
- b 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供
- c 日本有数のパイプオルガンの活用
- d ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援
- e 子どもや青少年の創造性を育む事業
- f 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催
- g 賑わい事業の開催
- h 音楽芸術の人材育成のための支援制度

(イ) 受託事業

- a 指定管理業務
- b お客様へのサービス向上に向けた取組
- c 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務
- d 各種会員制度等の運営

イ 地域文化会館（東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、北文化会館、右京ふれあい文化会館）

(ア) 主催事業（53事業 69公演 7講座（うち中止1事業 2公演）

- a 地域文化芸術活動活性化協議会の開催
- b 地域文化会館の重点的な取組
  - (a) 文化芸術活性化パートナーシップ事業
  - (b) 地域における文化芸術普及事業
  - (c) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
  - (d) 住民の文化芸術活動への支援型事業
  - (e) 施設間の交流事業

(イ) 受託事業

- a 指定管理業務
- b お客様へのサービス向上に向けた取組
- c 利用促進向上の取組

ウ ロームシアター京都

- (ア) 主催・共催事業 (38 事業 117 公演 18 講座 (うち中止 1 事業 1 公演))
  - a 主催・共催事業関連
  - b 賑わいスペース事業
  - c ミュージックサロン事業
- (イ) 受託事業
  - a 指定管理業務
  - b お客様へのサービス向上に向けた取組
  - c 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務
  - d 各種会員制度の運営

エ 京都市交響楽団

- (ア) 主催・共催事業 (27 事業 52 公演 (うち中止 1 事業 4 公演))
  - a 定期演奏会
  - b 特別演奏会
  - c 市外公演
  - d オーケストラ・ディスカバリー ～こどものためのオーケストラ入門～
  - e みんなのコンサート
  - f ロームシアター京都及び地域文化会館との連携事業
  - g 共催事業
  - h その他演奏会等
    - (a) 楽器講習会等
    - (b) 京響コーラス
    - (c) 京都市ジュニアオーケストラ
    - (d) 派遣 (アンサンブル) 演奏
  - i 京響友の会
- (イ) 受託事業

オ その他

- (ア) 組織人員体制・配置等の最適化
- (イ) 働きやすい職場づくりの推進及び人事給与制度の見直し
- (ウ) 人材育成・職員研修
- (エ) 環境への配慮
- (オ) 京都市交響楽団ビジョンの実現に向けた取組
- (カ) 「中期経営計画 2025」の運用
- (キ) 庶務報告
- (ク) 各種委員会の開催及び会議等への参画による情報収集
- (ケ) 遺贈に関する受入体制の整備

② 収益事業

ア 公益目的外の施設提供事業

- (ア) 駐車場経営
- (イ) オリジナルグッズ販売等
- (ウ) プレイガイドの運営
- (エ) 自動販売機の管理運営

2 財務面

(1) 目標及び実績

目標 「サポーター・パートナー会員収入」	
令和5年度の目標	<p>前年度に引き続き、制度趣旨について、多数の市民に、また社会貢献活動に関心のある企業の方々に、ご理解・ご賛同をいただく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で継続いただけなかった企業、個人に改めて再加入を依頼するなど、サポーター・パートナー会員への復帰を促すとともに、積極的に新規加入者を獲得し目標設定の7,000千円を目指す。</p> <p>法人：サポーター 34口 3,400千円                      〃：スペシャルサポーター 10口 1,000千円                      個人：パートナー 50口 1,000千円                      〃：スペシャルパートナー 80口 1,600千円 計7,000千円</p>
令和5年度の取組結果 (※)	
令和6年度の目標	<p>前年度に引き続き新規会員の獲得や一度退会した会員に対して支援再開をご案内するとともに、現会員との関係性向上にも注力し、支援額の維持を必達とした上で、目標額700万円の達成を目指す。</p> <p>また、令和6年度中に支援者にとって意義や魅力が理解しやすく、一層共感を得られる制度となるよう、広報の方向性などの見直しを図り改定を予定している。(令和7年度から実施)</p> <p>法人：サポーター 34口 3,400千円                      〃：スペシャルサポーター 10口 1,000千円                      個人：パートナー 50口 1,000千円                      〃：スペシャルパートナー 80口 1,600千円 計7,000千円</p>

指標	施設利用料金収入						(単位：千円)	
目標と実績	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標	実績 (※)
			606,218	765,392	752,983	773,709		774,969

指標	サポーター・パートナー会員収入 (単年度) の目標値						(単位：千円)	
目標と実績	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標	実績 (※)
			5,310	7,000	4,830	7,000		7,000

主要財務数値		(単位：千円)							
	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	予算	実績	予算	実績	予算	実績 (※)	予算	実績 (※)	
経常収益	3,001,583	2,898,554	2,967,310	2,966,918	3,042,224		3,052,087		
経常費用	2,999,410	2,829,571	2,952,753	2,894,909	3,000,587		3,042,179		
当期経常増減額	2,173	68,982	14,557	72,008	41,637		9,908		
当期正味財産増減額	2,173	68,663	14,557	71,688	41,637		9,908		
資産合計	-	1,578,148	-	1,639,419	-		-		
負債合計	-	822,603	-	812,186	-		-		
正味財産	-	755,544	-	827,233	-		-		
うち累積損益額	-	652,544	-	724,233	-		-		

(参考) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		R3 決算	R4 決算	R5 決算 (※)	R6 予算
委託料	京都コンサートホール管理運営 〔指定管理(非公募、利用料金制)〕	193,835	188,440		160,018
	京都会館管理運営 〔指定管理(公募、利用料金制)〕	406,727	370,371		357,343
	文化会館管理運営 〔指定管理(公募、利用料金制)〕	257,429	260,372		234,464
	自主、共催事業	3,000	6,717		6,600
	事業委託	3,980	4,950		5,268
補助金	事業補助	859,836	849,956		890,000

### 3 組織面

#### (1) 目標及び実績

目標 「経営基盤を強化するための適正かつ弾力的な人員配置」	
令和5年度の 目標	京都コンサートホール、京都市文化会館（5館）の指定管理期間の初年度であり、ロームシアター京都においては、現行の指定管理期間の後期期間のスタートの年度となる。さらなる効果的・効率的・安定的な事業執行を実現する体制を確立するとともに、プロパー職員の登用試験を実施し、中長期的に財団を支える職員の人材育成にも努める。
令和5年度の 取組結果 (※)	
令和6年度の 目標	令和7年度以降に京都コンサートホール及び京都市北文化会館の開館30周年、ロームシアター京都のリニューアルオープン10周年、京都市交響楽団の70周年を控えていることから、記念事業等の実施を確実にできる体制を確立するとともに、引き続き次期指定管理者に選定されるよう、プロパー職員の登用試験及び職員研修を実施し、中長期的に財団を支える職員の人材育成に努める。

指標	適正かつ弾力的な人員構成を測るための具体的なスケジュール							
	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績(※)
目標と実績		・プロパ ー登用試 験の実施 (プロパ ー登用者 6人)	・適正かつ 弾力的な 人員構成 の継続的 な検討 ・中長期的 に財団を 支える職 員のプロ パー登用	・プロパ ー登用 試験の実 施(プロ パー登用 者5人)	・適正かつ 弾力的な 人員構成 の継続的 な検討 ・中長期的 に財団を 支える職 員のプロ パー登用		・適正かつ 弾力的な 人員構成 の継続的 な検討 ・中長期的 に財団を 支える職 員のプロ パー登用	

### 第3 令和5年度の経営評価（令和4年度の経営状況に対する評価）

#### 1 所管局による評価

財務面	<p>新型コロナウイルス感染症による制限が緩和傾向にあった令和4年度においては、コロナ禍以前までの水準には至らなかったものの、利用料金収入や利用率は概ね回復することができた。</p> <p>割引制度の導入や営業活動の強化等、利用料金収入の増収を図る取組みに注力し、経営状況回復に向けた取組みを推進したことが評価できる。引き続き、協賛金や各種補助金、助成金の確保、ファンドレイジングの推進など、収入源の多様化を図り、経営基盤の更なる強化に努められたい。</p> <p>令和4年度は、指定管理施設（7館）のうちロームシアター京都を除く6施設の指定管理期間最終年度、及びロームシアター京都の中間評価を実施した節目となる年であった。引き続き、「中期経営計画2025」及び、令和5年度経営計画に基づき、更に効果的・効率的・安定的な財団運営を図ることが求められる。</p>
事業面	<p>状況に応じた感染症対策を講じながら、各施設において特色のある事業を展開した。</p> <p>施設ホームページのリニューアルやプロモーションビデオの作成等、インターネットを活用した情報発信を強化し、認知度や利便性の更なる向上に取り組んだほか、地域の活動団体や学生と連携した事業の実施や、新型コロナウイルス感染症の影響により途絶えていた海外アーティストの招聘等、多様な芸術鑑賞の機会を提供したことが評価できる。</p> <p>文化庁京都移転や京都市立芸術大移転を契機に、京都の文化芸術の創造・発信の拠点としての役割を果たすべく、本市と連携のもと、更に魅力的な事業の展開に努められたい。</p>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価

<p>令和4年度の施設利用率は、平成30年度比で98.4%まで回復し、経常増減額も昨年度に引き続き黒字を継続するなど、コロナ禍においても感染症の状況を踏まえた安心・安全なホール運営を実施するなど団体の堅実な取組は評価できる。</p> <p>令和5年度はコロナが第5類に移行した転換期であり、本格的な人流の回復が見込まれることから、これまで培った経験を活かして、芸術、芸能の振興や市民への文化芸術活動に寄与するような取組を進めていただきたい。</p> <p>また、京都市からの派遣職員については、実質的に補助金と同等の効果であり、団体の自主性・自律性を高めるためにも、段階的な解消を進めるべきである。</p>
---